

平等寺 護摩の真言

（表白・神分の後、）

（普供養の金の後）

のうぼう ばぎやばとうしゆにしゃ おんろ
ろ そぼろ じんばら ちしゅった しっだ
ろしやに さらばらた さだにえい そわか

（振鈴より本尊）

おん ころころ せんだりまとうぎ そわか

（火天段 段木積み始めるのをみて金一打）

おん あぎやのうえい そわか

（部主段 段木積み始めるのをみて金一打）

おん ばざらゆせい そわか

（本尊段 段木積み始めるのをみて金一打）

おん ころころ せんだりまとうぎ そわか

（諸尊段 段木積み始めるのをみて金一打）

おん ばざらだとばん うんたらくきりく あく

（世天段 段木積み始めるのをみて金一打）

のうまく さんまんだ ばざらだん せんだ

まかろしやだ そわたや うんたらた かんまん

（仏具を戻し始めるのをみて金一打）

のうまく さんまんだぼだなん ぼろん

（後アカの打つを聞き、金一打）

真言を止む